

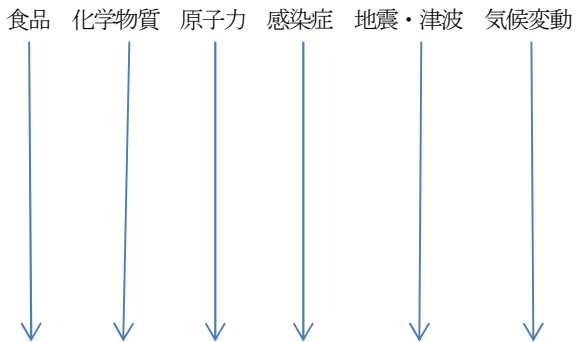
今後まとめられるリスク・コミュニケーションの取り組みについて

藤垣裕子

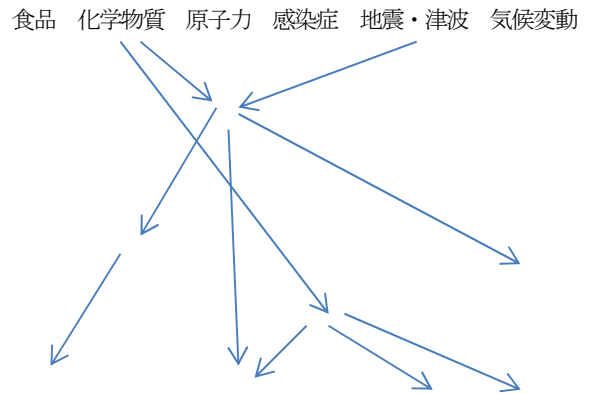
「先行モデルをつくり、水平展開を促す」(1月31日付参考資料1)の意味

1) 参考資料1 (リスクコミュニケーションのモデル事業のポンチ絵) と資料1 (先行事例: 分野別) との関係を考える

<水平展開がない場合>



<水平展開のある場合>



- ・水平展開=先行モデルが他の分野のリスクコミュニケーションへ影響を与えること。
 そのしかけをどのように作るのか。
- ・それとも各分野の「特性」を記述することをめざすか？

2) 参考資料1 と参考資料3 (「リスクコミュニケーション推進にあたっての重要事項: 類型: 主体別」) の関係を考える

- ・各アクターがどのように変わればよいのか？
- ・リスクコミュニケーションの類型にみられるリスクコミュニケーションの主体
 - 「専門家が」
 - 「学協会・研究機関が」
 - 「行政が」
 - 「広報やメディアが」
- ・「先行モデルをつくり、水平展開を促す」(1月31日付参考資料1) は、これら4つの主体のうち、どれを最初に動かし、他の主体に働きかけていけるのか。
- ・1つの団体だけに予算がいき、「静的で」「水平展開のない」活動になってしまうことをどのように防ぐのか

1) 2) をあわせて、日本に「リスク」の責任を負う文化をいかに醸成するか。